



1・チームについて

私たち「タビトモ」は、訪日外国人観光客を受け入れる事業者に向けたビジネス提案を目的に活動しているチームです。

チーム名の「タビトモ」は、「旅人と共に」と「旅人と友に」を掛け合わせた言葉で、旅を通じたつながりや協力を大切にする想いが込められています。

2・1日目

国内合宿の初日は、18:10に「L stay & grow 南砂町」に集合しました。

高専生メンバーはちょうどテストが終わった直後ということもあり、やや疲れの見える様子でしたが、最初のアイスブレイクとして行われた「Peopleビンゴ」で、気持ちを切り替えることができました。



「Peopleビンゴ」とは、マス目に自分で書いた質問をもとに会場内を歩き回り、目が合った相手に質問をして「YES」と答えられたらマスを埋めていくゲームです。他チームの普段関わりのないGCPメンバーとも自然に会話が生まれ、交流を深めることができました。

その後は、シンガポールにある産技高専の提携校「ニース・ポリテクニク」で予定されているウェルカムパーティーに向けた出し物の打ち合わせを行いました。

さらに、タビトモメンバーのみでの会議も実施し、翌日のフィールドワークに向けた質問事項や仮説の共有、行動計画の見直しなどを行いました。

眠気と戦いながらも、会議は22時までしっかりと取り組みました。

3・2日目

合宿2日目は、メインイベントであるフィールドワークを行いました。
今回は、以下の3か所を訪問し、飲食業やガイド業に関わる方々から、
訪日外国人観光客への対応に関するご意見をヒアリングしました。

・ 月島もんじゃ振興会協同組合

・ 街中観光案内 上野控所

・ 街中観光案内 秋葉原控所

まずは、月島もんじゃ振興会協同組合理事・高野様がいらっしゃる「まるた2番街店」へ伺い、ヒアリングを行いました。外国人観光客の呼び込みの難しさや言語の壁など、リアルな課題を聞かせていただきました。

次に訪れた上野控所と秋葉原控所では、実際にボランティアで街なかガイドをされている方々から、国籍ごとの考え方の違いや、普段の活動で工夫されている点など、具体的なお話を伺うことができました。

3か所でのヒアリングを終えた後は、秋葉原控所の方に教えていただいた「アキバ・インフォ」へ臨時訪問し、簡単なヒアリングを実施しました。訪日外国人観光客からよくある質問や、それに対する対応の方法などを教えていただき、突然の訪問にも関わらず丁寧に対応していただきました。



その後、午前中にお世話になった「まるた2番街店」に戻り、少し遅めの昼食兼早めの夕食として、もんじゃ焼きをいただきました。高野様こだわりの味を楽しみながら、ヒアリングで得た内容を実際に体験としても味わうことができ、非常に貴重な時間となりました。



宿に戻ってからは、ヒアリング内容の整理と、翌日に控えたプレゼンテーションの準備を進め、2日目を締めくくりました。

4・3日目

合宿最終日となる3日目は、これまでの活動の成果を発表する「国内合宿発表会」が行われました。

午前中は、前日までに作成したプレゼンテーションをブラッシュアップする時間となり、短時間ではありましたが、2日間の学びや気づきをしっかりとまとめ直すことができました。午後はいよいよ発表の本番です。自分たちのチームのプレゼンテーションを発表するだけでなく、他のチームの発表にも耳を傾け、活発な質疑応答が行われました。チームごとの視点や取り組み方に刺激を受けるとともに、さまざまなフィードバックをいただく機会にもなりました。

今回のプレゼンで寄せられた質問や意見をふまえ、今後に控える中間報告会（6月末予定）に向けて、さらに内容を深めていきたいと思います。

次回が楽しみ！

